

今回は日本各地の古都、城下町、宿場町の旅をご提案 『ことりっぴマガジン』 Vol.14 2017 秋 発売 ～テーマは「レトロの町で。」近江八幡、木曽路、小田原ほか収録～

株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）は、2017年9月6日より、雑誌スタイルの季刊号『ことりっぴマガジン vol.14 2017 秋』を発売いたします。



<表紙>



<ページ例>

20～30代の女性の声から2008年に誕生した旅行ガイドブックシリーズ『ことりっぴ』は、累計発行部数が**1500万部**を超え、おかげさまで大変多くの読者の方にご支持をいただいております。

そうした中、旅好きな方にもっと季節が感じられる旅を楽しんでいただきたい、日常でも旅に触れあい、もっと旅に出ていただきたい、という思いの下、書籍版では実現できなかったタイムリーな旅案内や、季節にピッタリな旅の提案、イベント情報など、旅にまつわるテーマを扱う年4回発行の季節号「ことりっぴマガジン」の「2017 秋号」をこのたび出版いたします。

■『ことりっぴマガジン vol.14 2017 秋』の内容

今号のメインテーマは「レトロの町で。」<日本各地にある魅力的な古都、城下町、宿場町などで「レトロ」を感じる旅>をご紹介します。巻頭特集は「近江八幡 和と洋が交わる商人の町へ」。八幡堀沿いを歩いたり、ヴォーリス建築をめぐったりして往時の面影、歴史に触れつつ、近江商人の精神が息づく町の「今」を感じ、琵琶湖畔で生まれる新たな名物を知る。そんな旅をご提案しています。



<近江八幡紹介ページ 1>



<近江八幡紹介ページ 2>

ほか特集としては、旅人でにぎわった江戸時代の姿を今も色濃く残す山あいの宿場町を紹介した「**木曽路・奈良井宿へ**」、昨年天守閣がリニューアルされ東京周辺からいちばん近いお城のある町として注目を集める小田原の特集「**古き良き小田原めぐり**」、200年以上続くテキスタイル播州織とノスタルジックな町並みが魅力の「**播州織の町・西脇へ**」、江戸時代から商家の集まる町として栄えた秋田県横手市増田に残る内蔵をめぐる旅「**秋田・増田の内蔵をたずねて**」等を掲載。

レギュラーコーナーでも「**季節を彩る和菓子ごよみ『秋』**」や、「**日本 旅人の視る風景『秋の宿場町』**」など、この秋のおでかけへと誘う企画をふんだんに盛り込んでいます。

これまでの号と比べてもボリュームアップ。充実の一冊に仕上がりました。



＜木曽路・奈良井宿へ＞



＜古き良き小田原めぐり＞



＜播州織の町・西脇へ＞



＜秋田・増田の内蔵をたずねて＞

■『ことりっぴマガジン』 電子版について

『ことりっぴマガジン』は、弊社電子ガイドブックアプリ『ことりっぴアプリ』及び弊社電子書籍取扱いの各電子書籍ストアにて、600円（税込）にてご提供いたします。

■『ことりっぴ』について

『ことりっぴ』は、働く女性が週末に行く2泊3日の小さな旅を提案したガイドブックの大人気シリーズです。2008年に創刊以来、旅好きな女性に圧倒的サポートをいただいております。2017年8月現在、国内版66点、海外版39点、会話帖9点の計**114ラインナップ**を展開しております。

■商品概要

【商品名】ことりっぴマガジン vol.14 2017 秋

【体裁・頁数】A4変型判（H297×W235）、本体164頁

【発売日】2017年9月6日

※年4回発刊、次号は2017年12月上旬を予定

【定価】本体630円＋税

【リリースに関する問い合わせ】株式会社 昭文社 広報担当 竹内 渉

TEL03-3556-8271 FAX03-3556-8168

昭文社ホームページ

<http://www.mapple.co.jp/>